



毎日、発明する会社
again!

2021年4月期

第1四半期決算説明資料

フリービット株式会社

2020年9月11日

1. 2021年4月期 第1四半期 連結業績 ・・・ 3
2. 2021年4月期 第1四半期 セグメント別業績及び事業進捗 ・・・ 16
3. 2021年4月期 連結業績進捗 ・・・ 26

略称について

略称	社名及び説明
FB	フリービット(株)=当社
FBG	フリービットグループ
ALC	(株)アルク=完全子会社
DTI	(株)ドリーム・トレイン・インターネット=完全子会社
FBEPH	(株)フリービットEPARKヘルスケア=子会社
FBEPHG	フリービットEPARKヘルスケアグループ
FBI	フリービットインベストメント(株)=完全子会社
BI	(株)ベッコアメ・インターネット=完全子会社
FS	(株)フルスピード=東証二部上場の子会社
FSG	フルスピードグループ
FI	(株)フォーイト=(株)フルスピードの完全子会社
CR	(株)クライド=(株)フルスピードの完全子会社
FSL	(株)フルスピードリンク=(株)フルスピードの子会社

略称	社名及び説明
GP	(株)ギガプライズ=名証セントレックス上場の子会社
GPG	ギガプライズグループ
FM	(株)フォーメンバース=(株)ギガプライズの子会社
SV	(株)ソフト・ボランチ=(株)ギガプライズの完全子会社
GT	(株)ギガテック=(株)ギガプライズの完全子会社

略称	セグメント名
Infra	インフラテック事業
RET	不動産テック事業
ADT	アドテック事業
HT	ヘルステック事業
ET	エドテック事業

1. 2021年4月期 第1四半期 連結業績

2021年4月期 第1四半期 連結業績

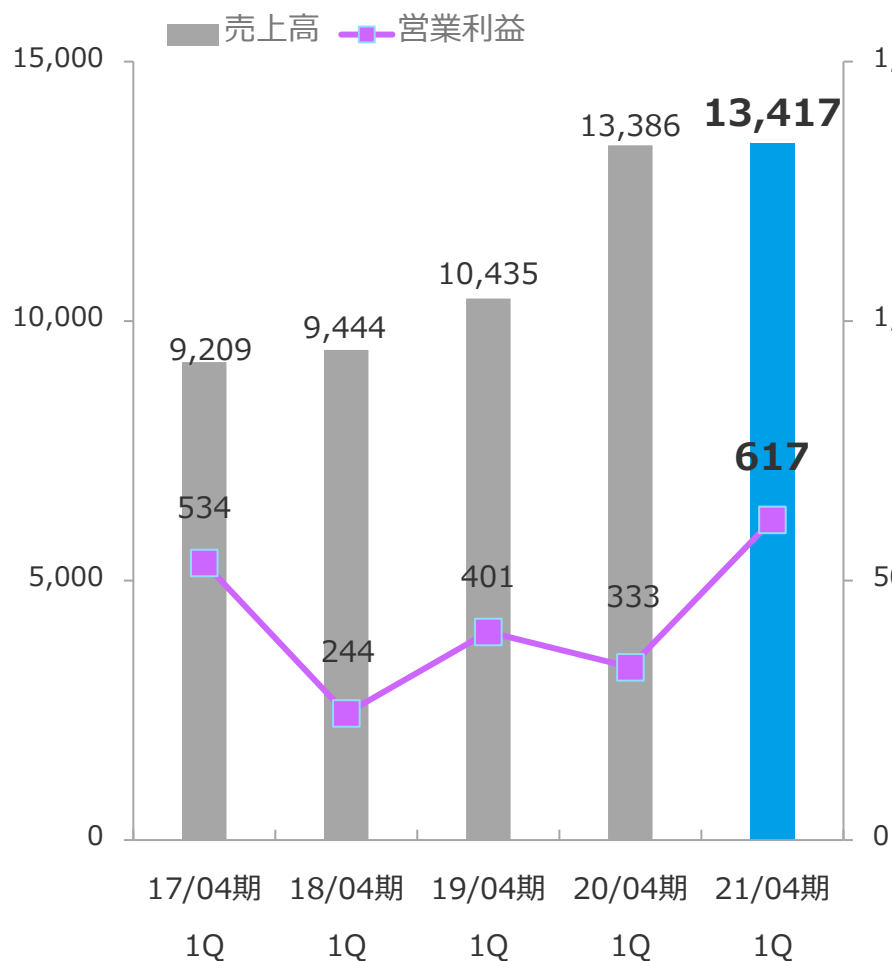
(単位：百万円)	21年04期 第1四半期	20年04期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	13,417	13,386	+30	0.2%
EBITDA	912	803	+109	13.6%
営業利益	617	333	+284	85.3%
経常利益	586	286	+300	105.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	218	△180	+399	—
1株当たり純利益	9円96銭	△8円14銭	+18円1銭	—

2021年4月期第1四半期連結業績は、テレワーク需要増に伴うインフラテック事業利益増により増益。通期進捗については、投資施策が遅延

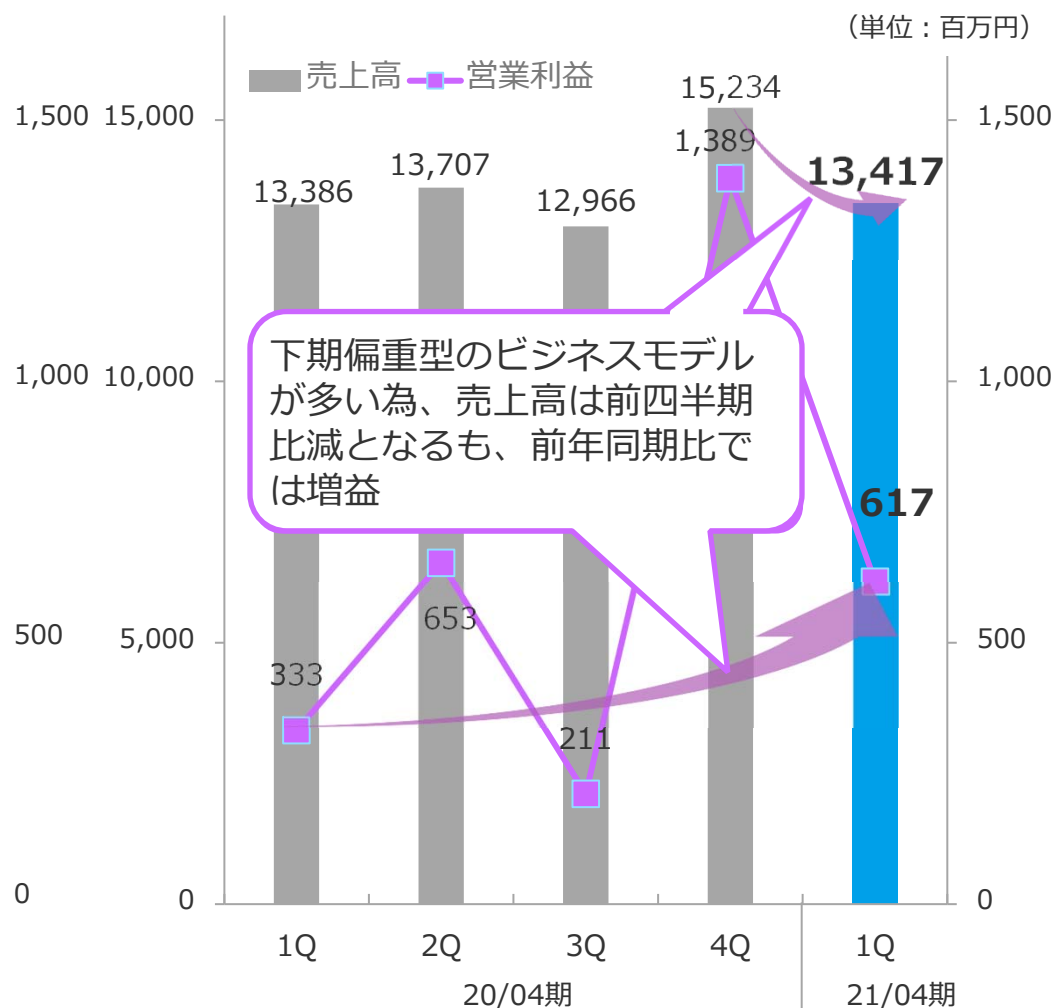
- ・売上高：テレワーク需要増も、エドテック事業及びアドテック事業が新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたことによりほぼ横ばい
- ・営業利益：不採算事業の整理による改善、テレワーク需要増に伴うインフラテック利益増により前年同期比増
- ・経常利益：営業利益増により前年同期比増
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益：経常利益増等により前年同期比399百万円増

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けるも、テレワーク需要増に伴い、営業利益は前年同期比85.3%増

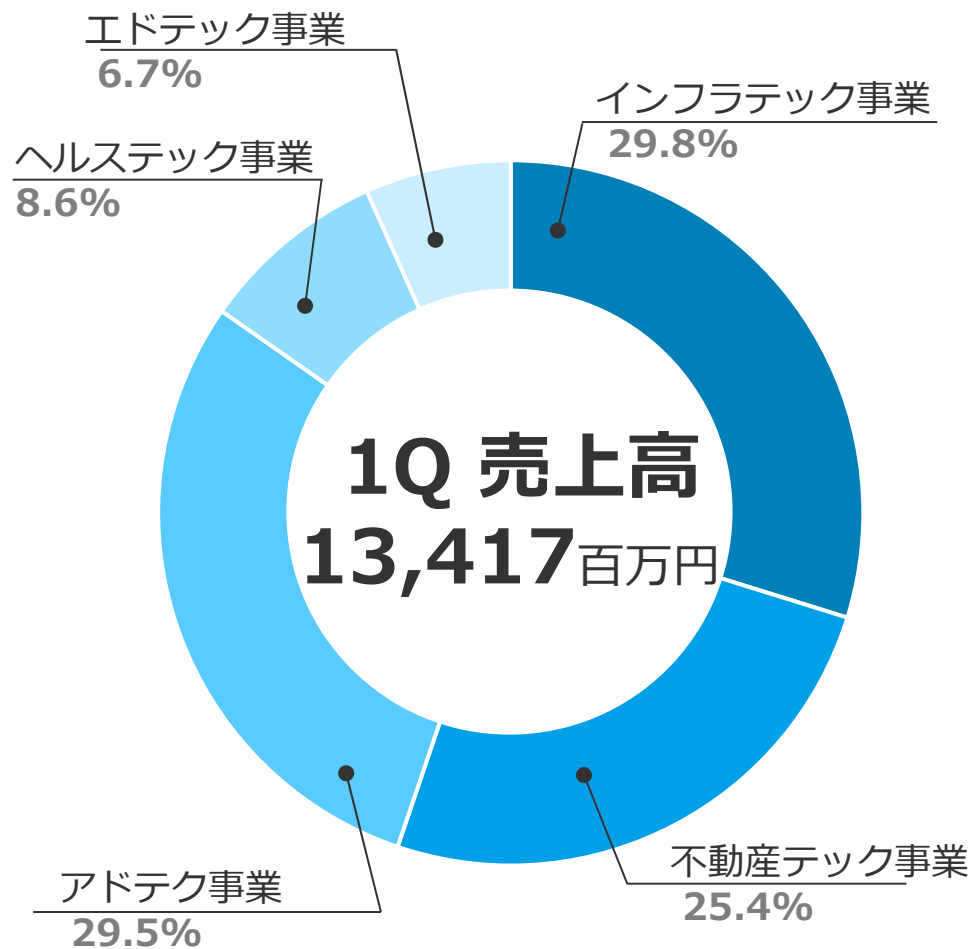
第1四半期実績推移



直近の四半期実績推移



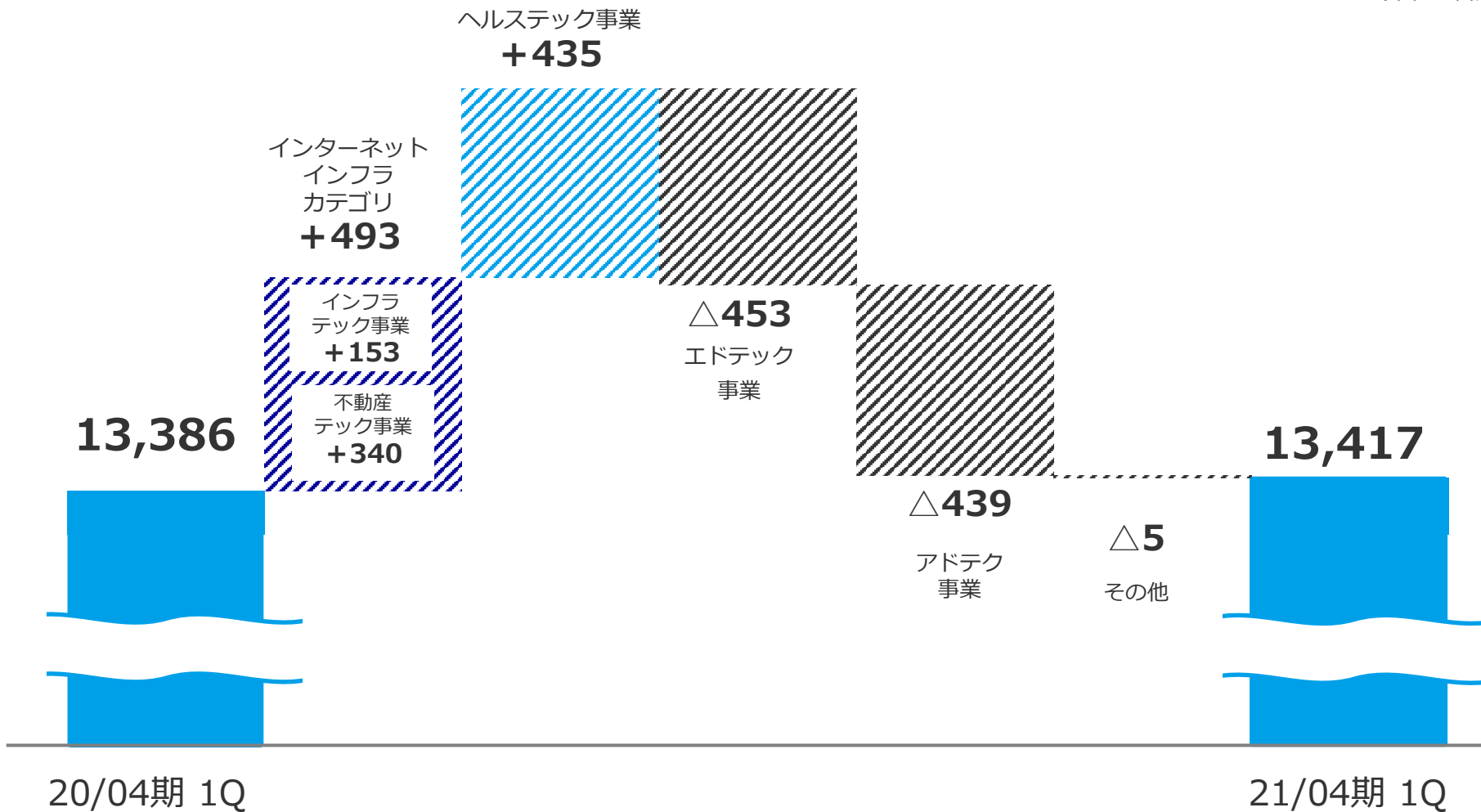
テレワーク需要増により、インフラテック事業は前年同期比 増収増益



売上高	セグメント損益
インフラテック事業	
4,039 百万円 YoY +3.9%	272 百万円 YoY +104.4%
不動産テック事業	
3,437 百万円 YoY +11.0%	307 百万円 YoY +1.1%
アドテック事業	
3,998 百万円 YoY △9.9%	121 百万円 YoY △33.7%
ヘルステック事業	
1,165 百万円 YoY +59.7%	130 百万円 YoY +267百万円
エドテック事業	
907 百万円 YoY △33.3%	△215 百万円 YoY △59百万円

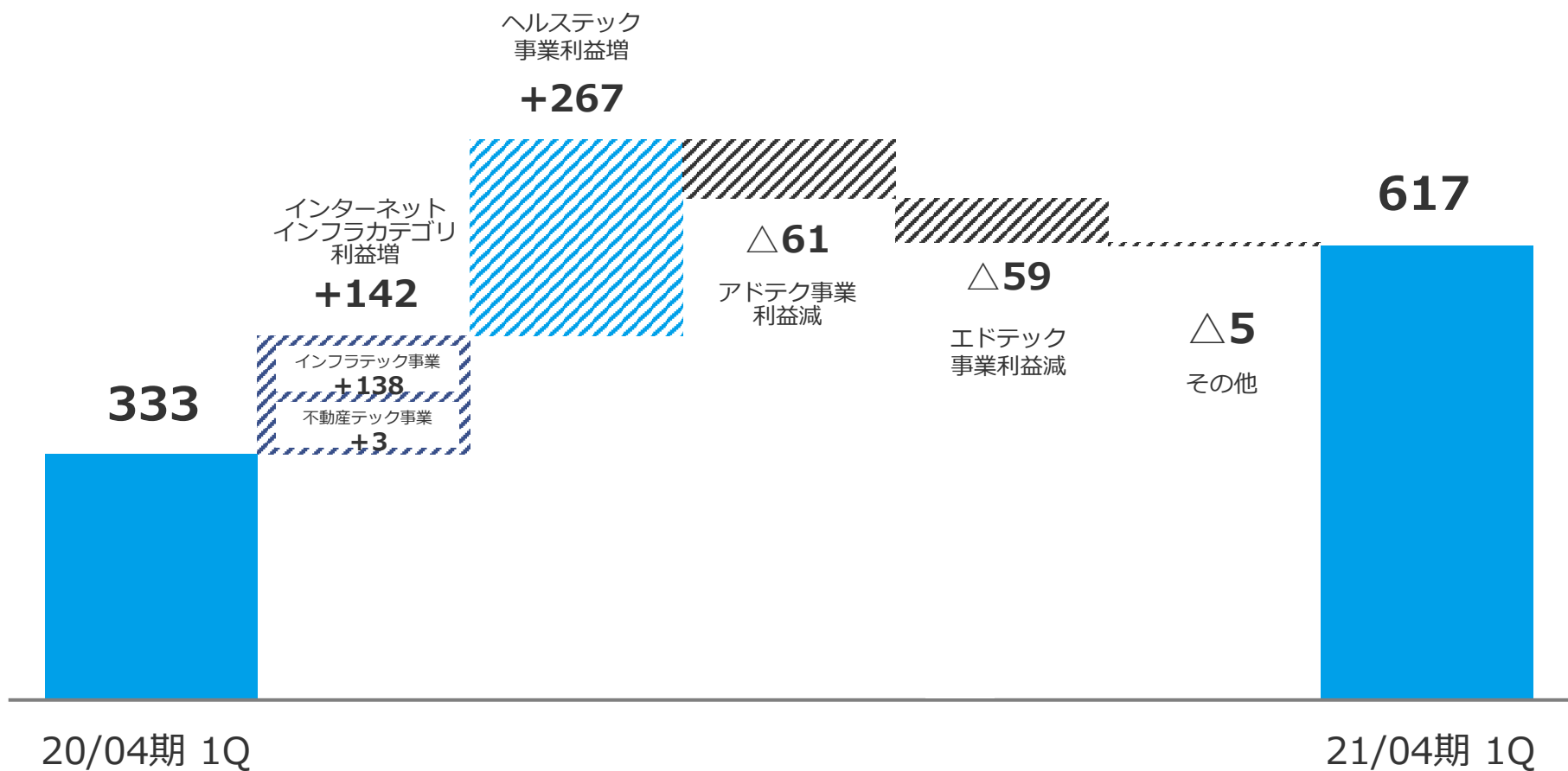
テレワーク需要増も、エドテック事業及びアドテック事業が新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたことによりほぼ横ばい

(単位：百万円)



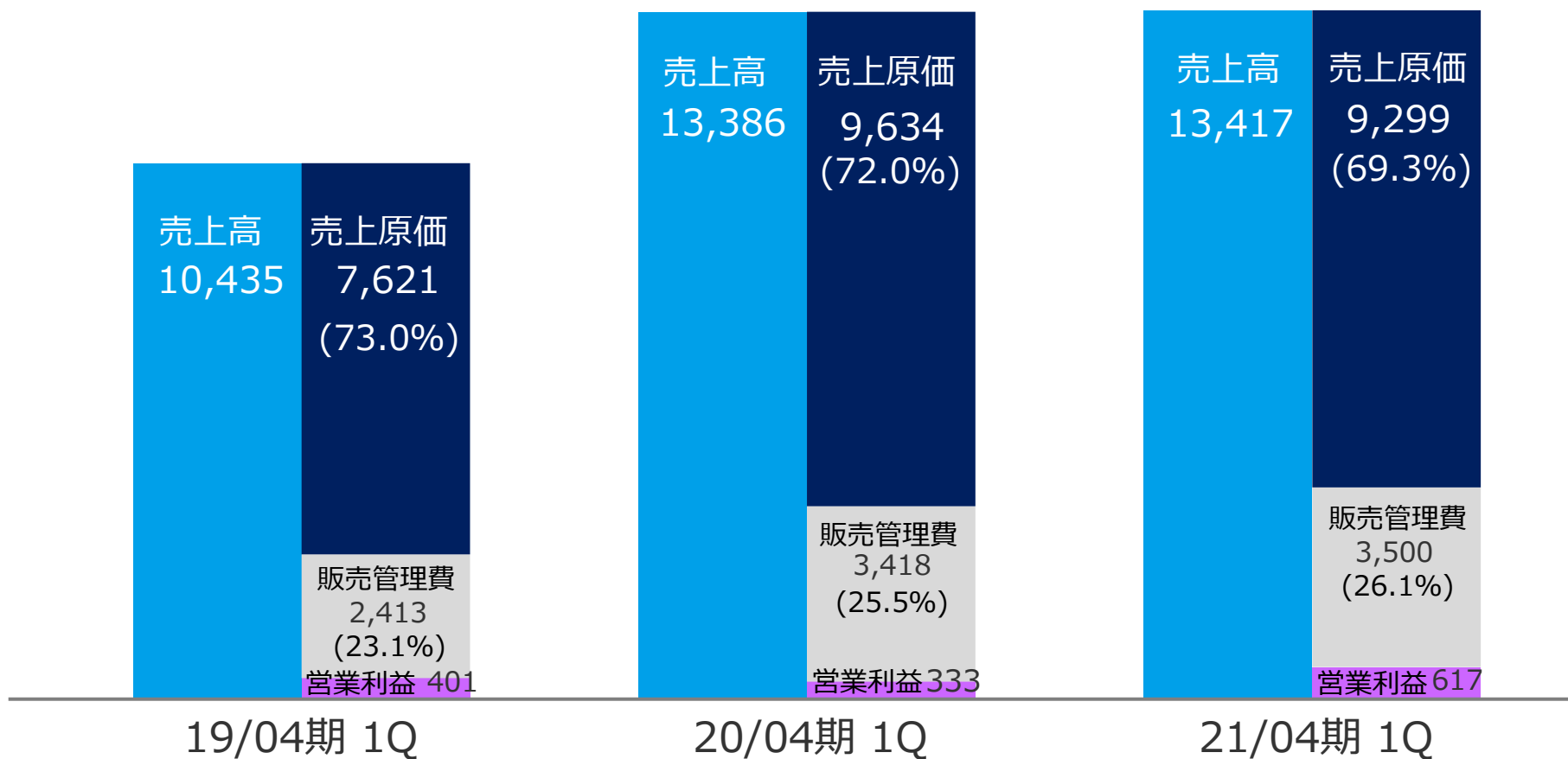
インフラテック事業及び不動産テック事業利益増に加え、ヘルステック事業の黒字化により前年同期比85.3%増

(単位：百万円)



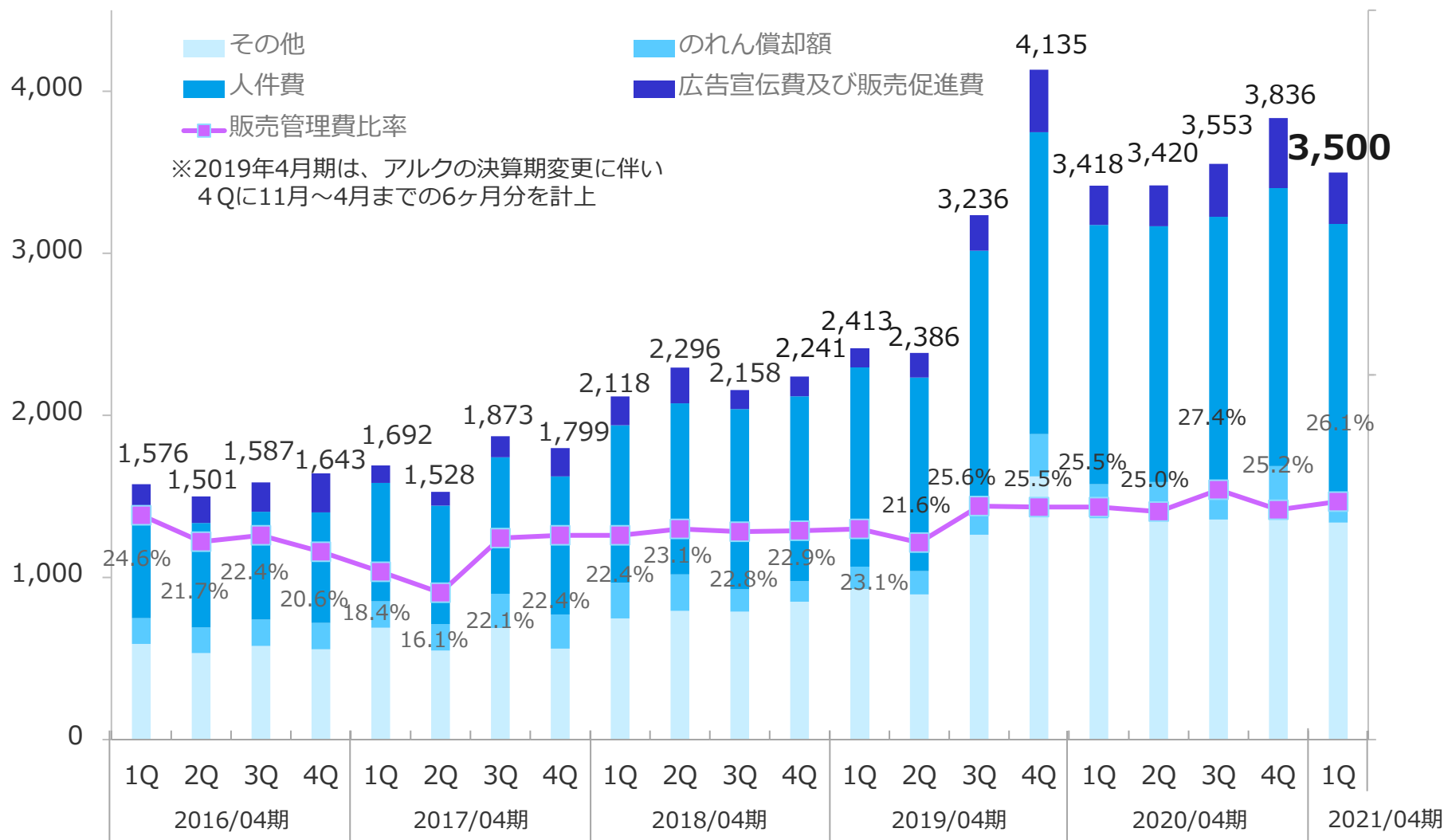
新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けるも、テレワーク需要増に伴い、売上高はほぼ横ばい

(単位：百万円)



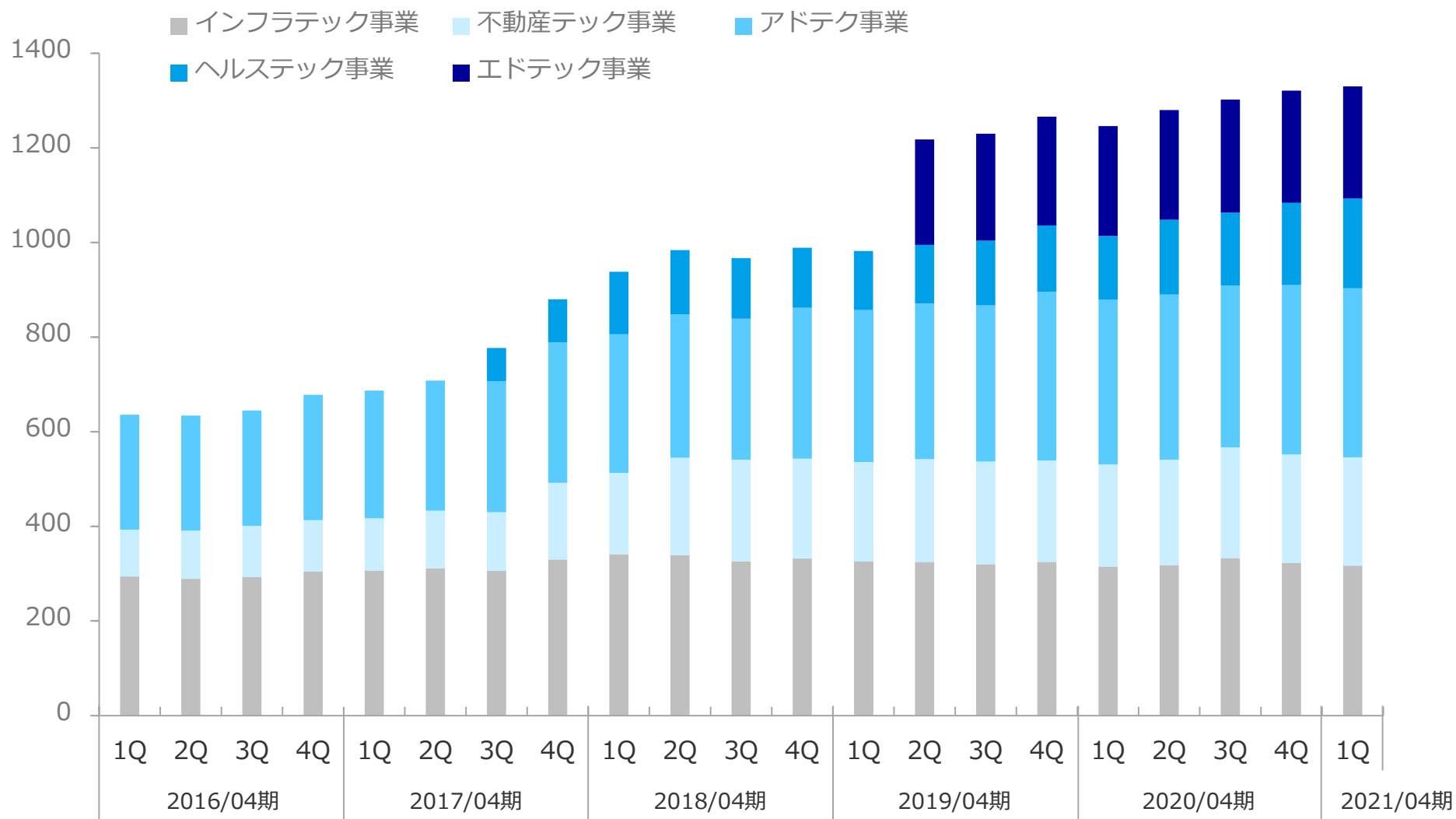
前期4Qのれん減損等により、対前四半期比で販売管理費減

(単位：百万円)



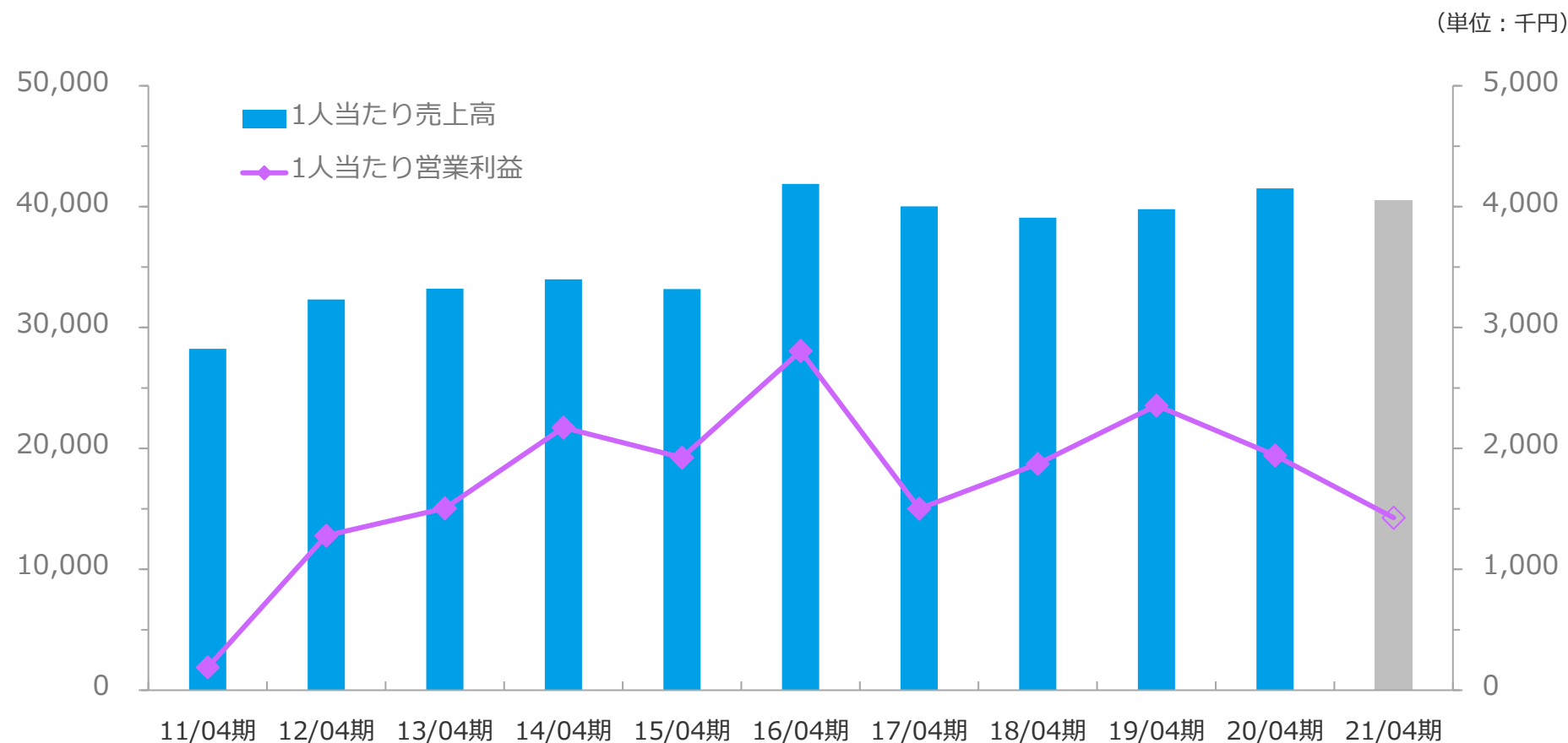
事業拡充に伴う人員強化も一巡し、従業員数は横ばい

(単位：人)



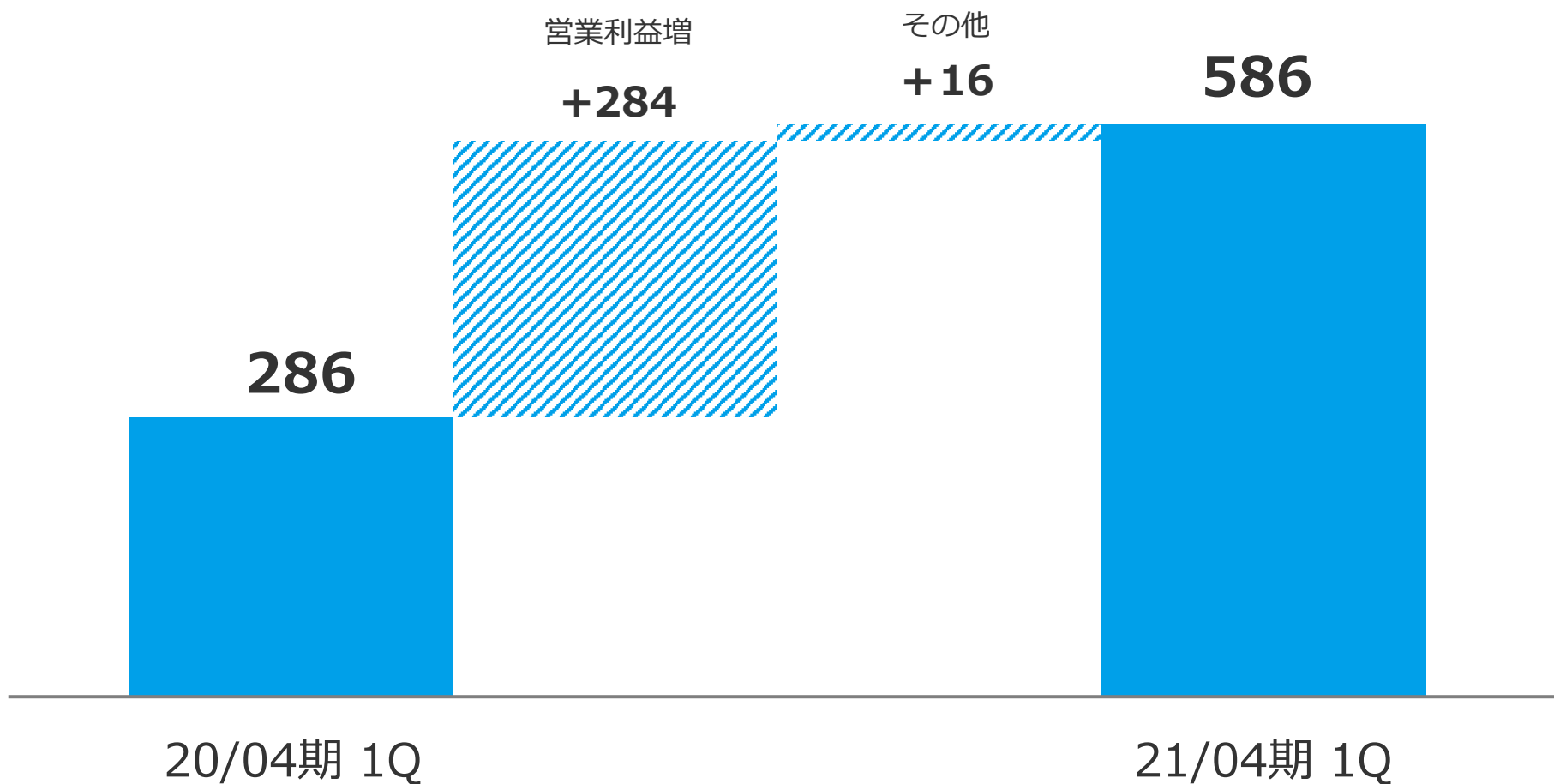
1人当たり売上高・営業利益

SiLK VISION 2013	SiLK VISION 2016	SiLK VISION 2020	今期
---------------------	---------------------	------------------	----



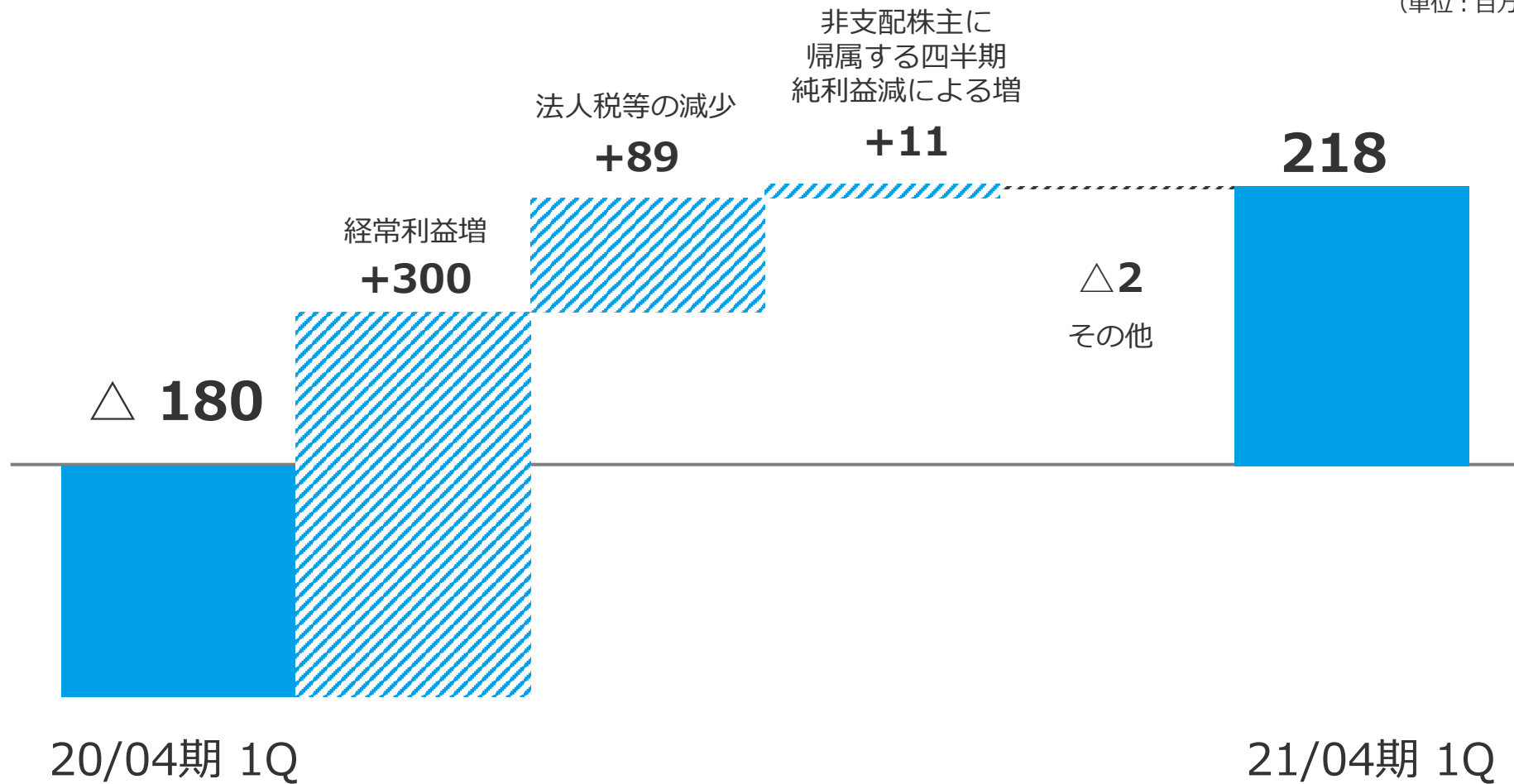
テレワーク需要増による営業利益増により、前年同期比増

(単位：百万円)



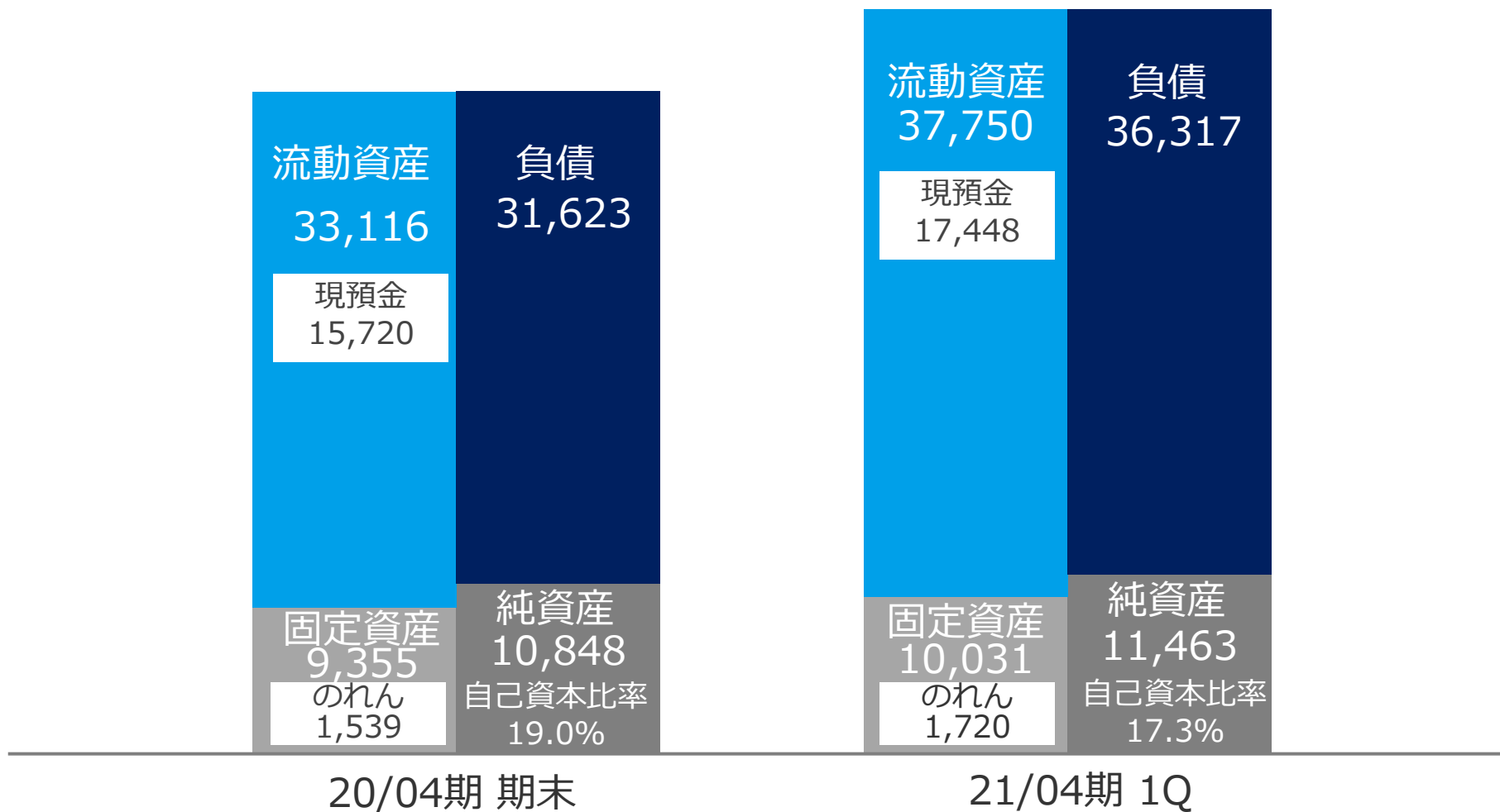
経常利益増等により、前年同期比399百万円増

(単位：百万円)



手元資金強化とヘルステックの取引増により、資産負債ともに増加

(単位：百万円)



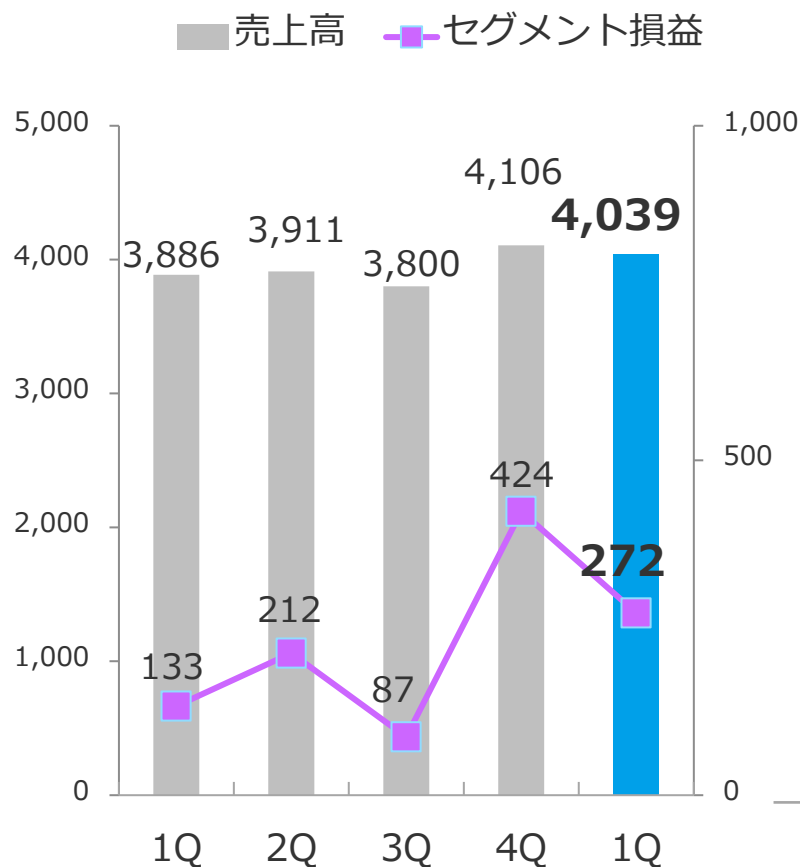
2. 2021年4月期 第1四半期 セグメント別業績及び事業進捗

前年同期比 売上高3.9%増、セグメント損益104.4%増

新型コロナウイルス感染症拡大によるテレワーク需要増のため増収増益

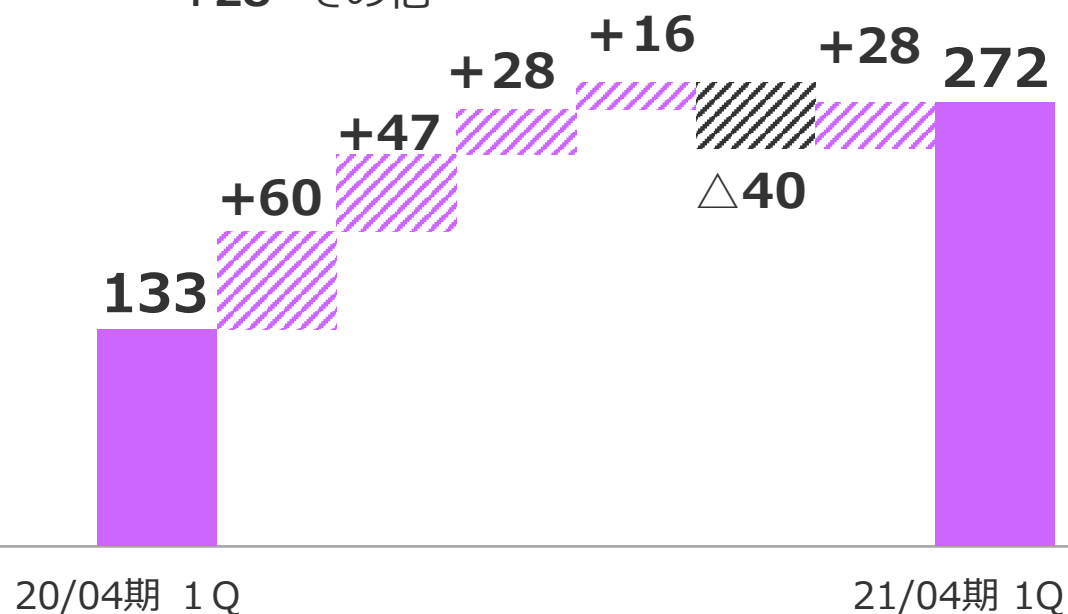
(単位：百万円)

売上高・セグメント損益



セグメント損益前年同期比差異分析

- +60 モバイル利益改善による利益増
- +47 固定費減ならびにコラボ系売上増
- +28 不採算事業の整理による利益改善
- +16 トーンモバイル事業承継に伴う利益増加
- △40 固定網利益減等
- +28 その他



TONE MOBILE トーンモバイルにおいて、新常態におけるあんしん・安全な生活をサポートする機能の提供開始。カメラのキタムラにおける取扱店舗数も順調に拡大

2020年2月

世界初※オンデバイスAIフィルター搭載
AI機能/基礎性能が大幅に向上した
家族3世代スマホ「TONE e20」販売開始




TONE e20

世界初※オンデバイスAIフィルター搭載
AIにより自画撮り被害を防ぐ
TONEカメラ

(※2020年2月時点 株式会社ドリーム・トレイン・インターネット調べ)

2020年4月

新型コロナウイルス感染症対策サポート機能の第1弾として、家族の移動ヒートマップを可視化し週次でレポートする「あんしんレポート」臨時版の提供開始



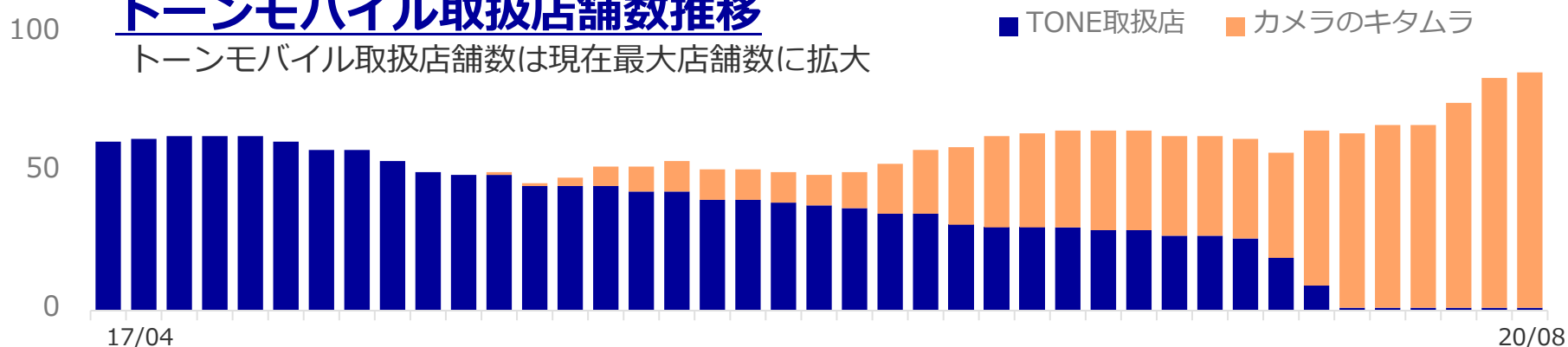
移動ヒートマップ

移動が確認された都道府県の感染者数

都道府県	感染者数
東京都	×××
神奈川県	×××

トーンモバイル取扱店舗数推移

トーンモバイル取扱店舗数は現在最大店舗数に拡大



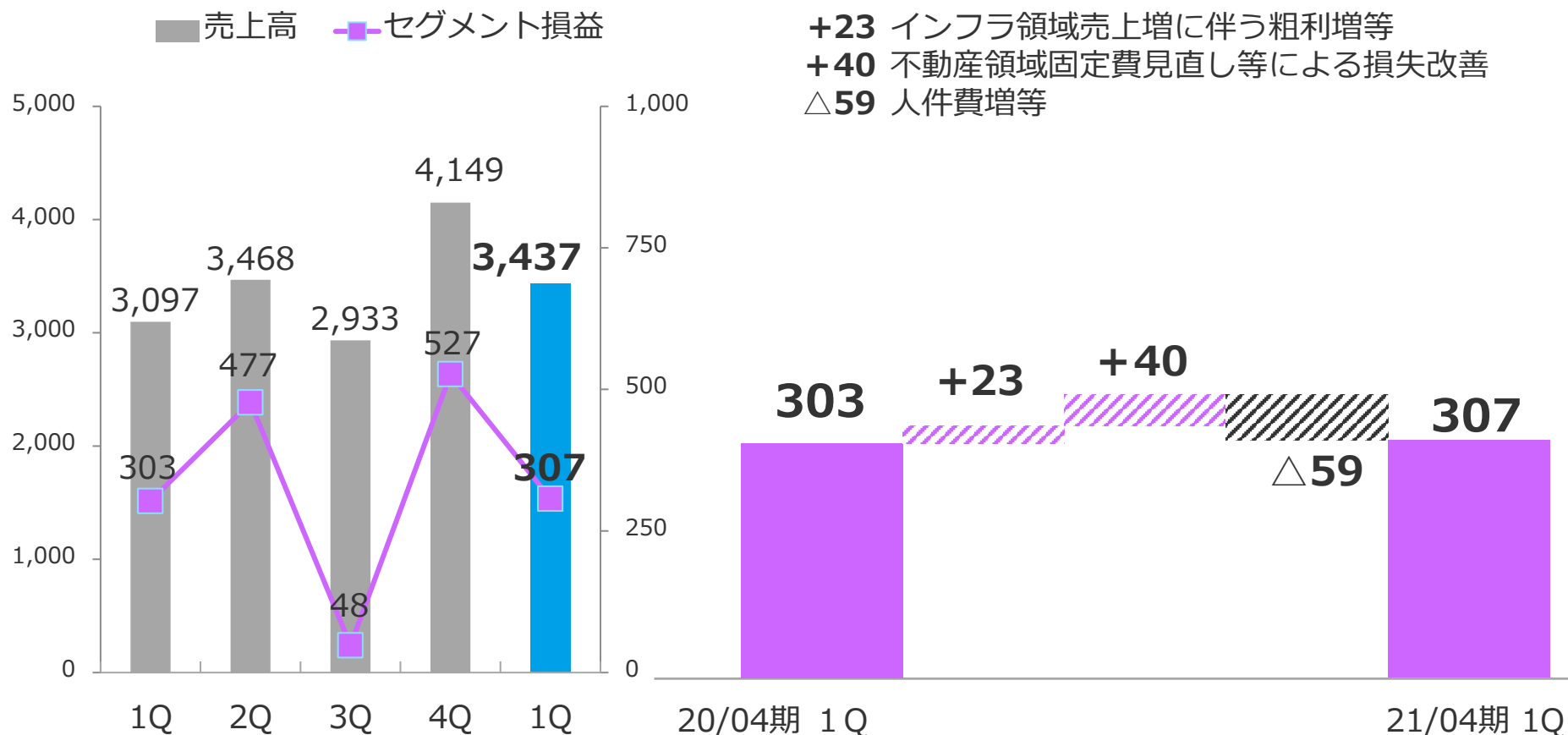
前年同期比 売上高11.0%増、セグメント利益1.1%増

新型コロナウイルス感染症拡大下においても感染防止に努め、堅実に工事を遂行したことにより、前年同期比増収増益を維持

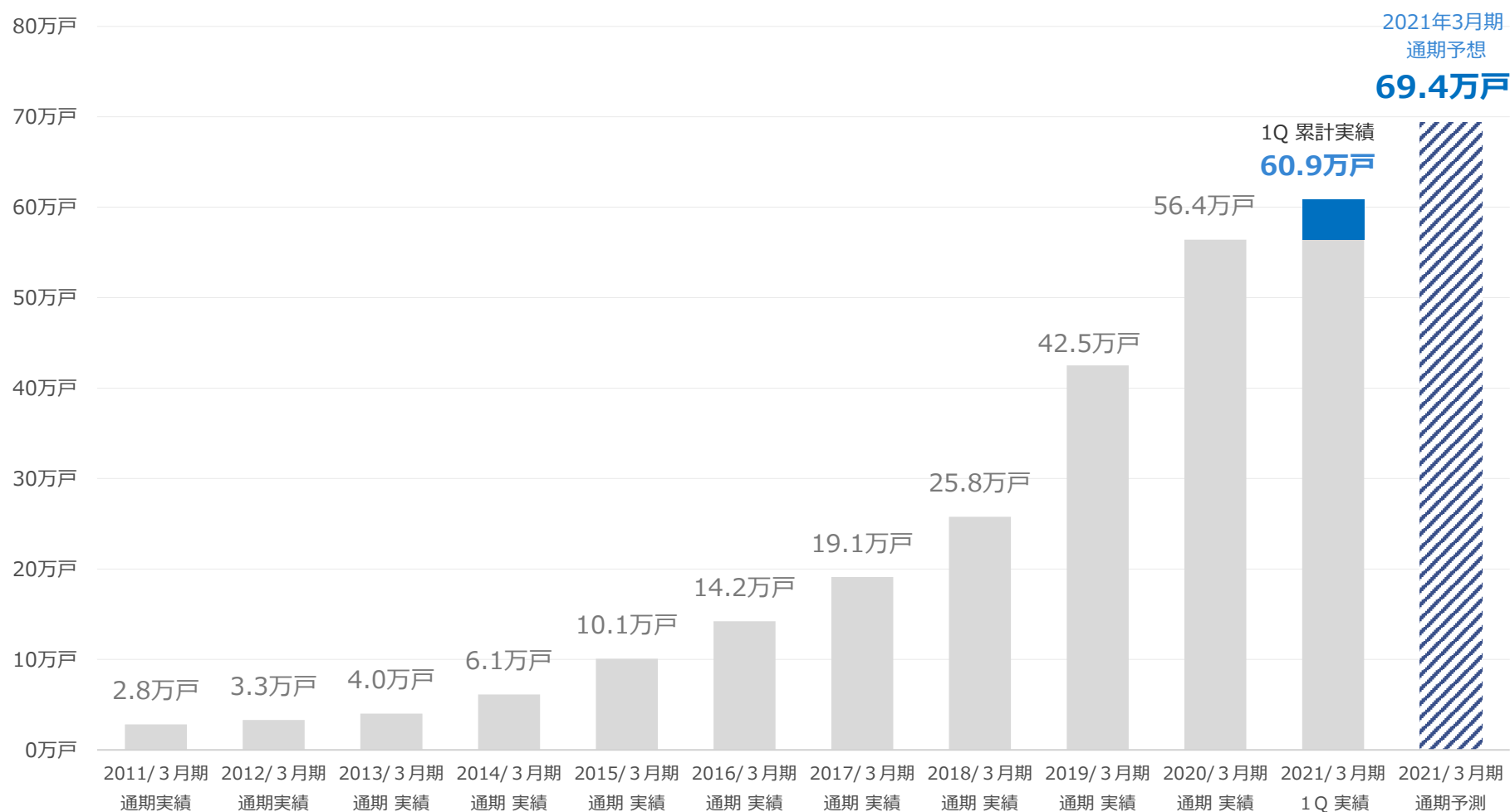
(単位：百万円)

売上高・セグメント損益

セグメント損益前年同期比差異分析



サービス提供戸数は、前期末（56.4万戸）から4.4万戸増の60.9万戸を達成



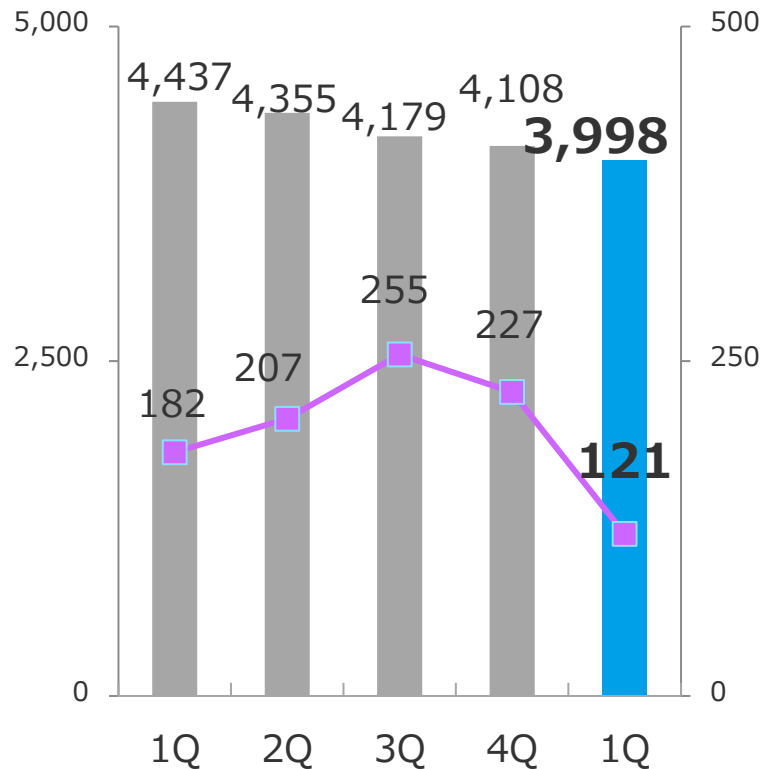
店舗送客広告や旅行広告等が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け、前年同期比減収減益

(単位：百万円)

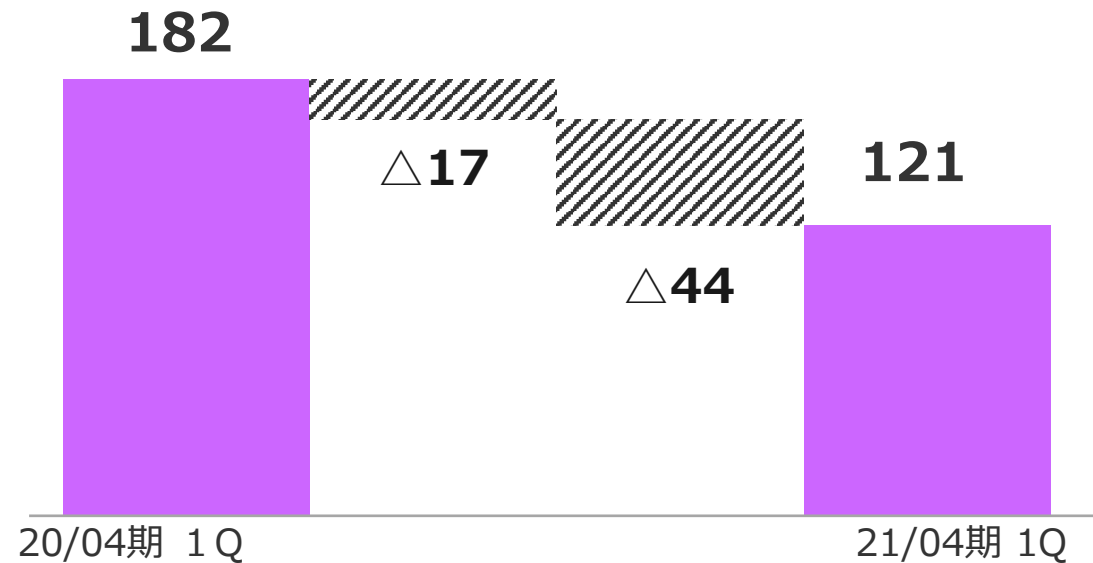
売上高・セグメント損益

セグメント損益前年同期比差異分析

■ 売上高 ■ セグメント損益



- △17 FSG売上総利益の減少
- △44 FSG販管費増による利益減等



2020.05.01 インターネットマーケティングの事業環境および新型コロナウイルス等の社会環境の急速な変化において、フルスピードグループにおける機動的な経営意思決定の実現のため、フォーイト社長として、アドテクノロジー事業の規模拡大を牽引した吉澤が代表取締役社長に就任

(株)フルスピード役員人事	
代表取締役会長	友松 功一
代表取締役社長	吉澤 竹晴
取締役	米村 一精
取締役	小宮山 雄己
取締役	服部 司
社外取締役	野口 航
社外取締役	秦 充洋
取締役	清水 高 FB
取締役	和田 育子 FB

Message

マーケティング × テクノロジーをスローガンに掲げ、
経済・社会環境の変化に適合しつづける、“MarTech”カンパニーとして
事業拡大および企業価値の向上を目指す

アドテク事業進捗

インフルエンサーDX化の展開

テクノロジーを活用したマイクロインフルエンサー等の一元管理を実現へ

2020
06.01

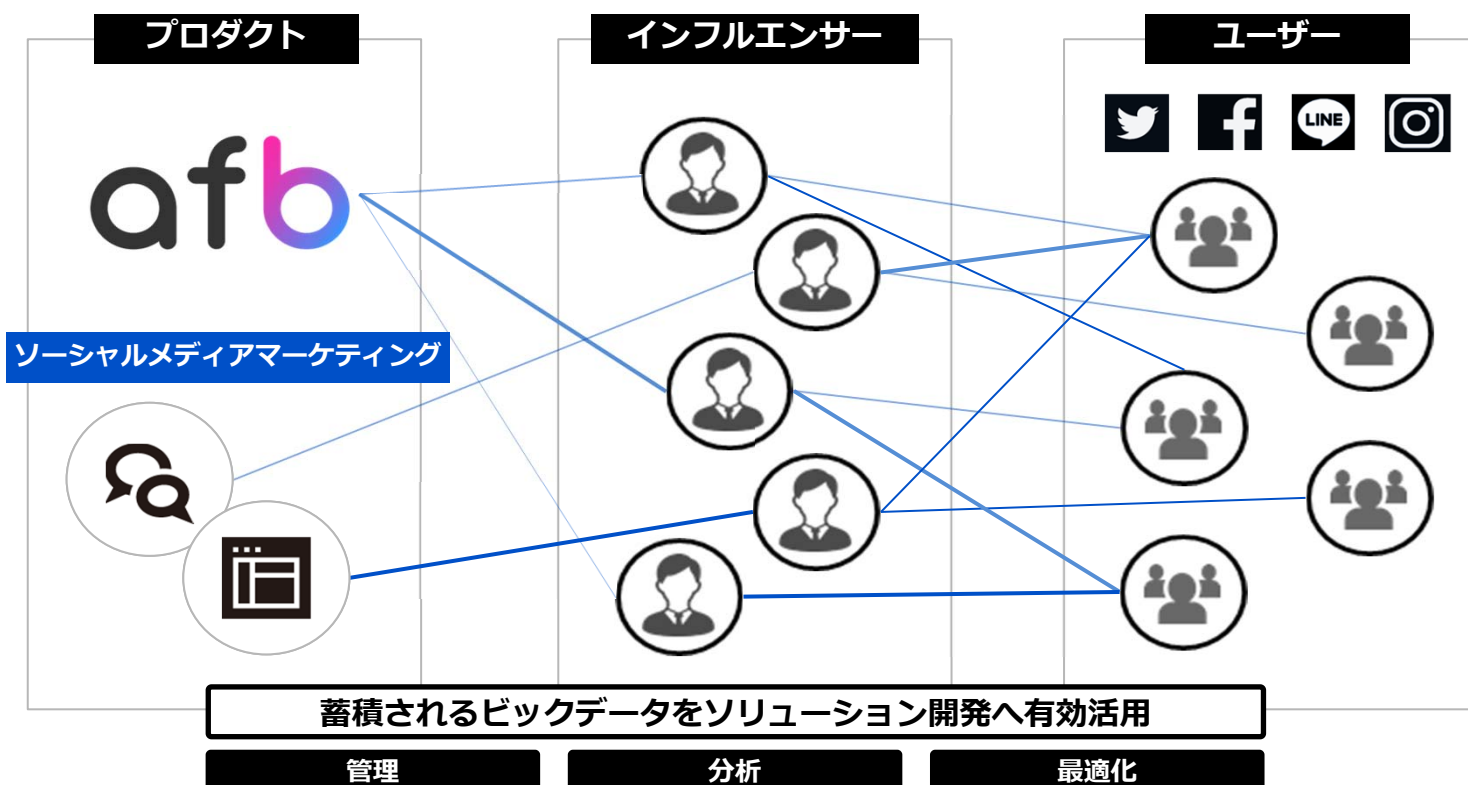
インフルエンサープラットフォーム
「BitStar」と資本業務提携

2020
08.20

YouTubeチャンネル
運用支援サービスを提供開始

Point

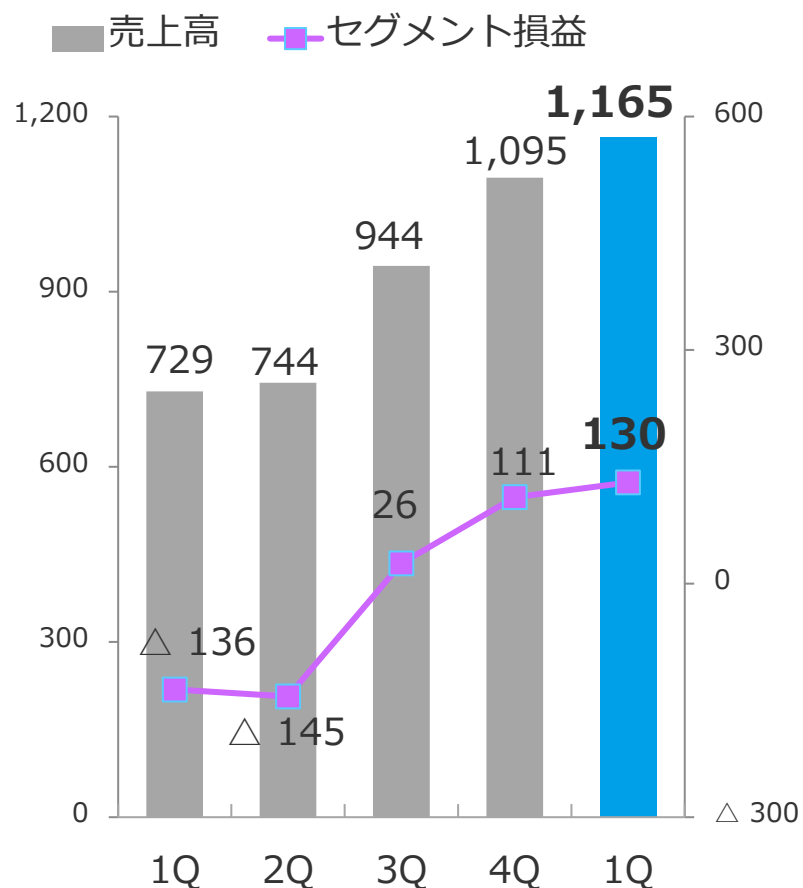
自社テクノロジー開発基盤の活用により、蓄積されるビッグデータの
管理・分析・最適化を実現し、競争差別化ソリューションの開発へ



2016年にヘルステック事業開始以降赤字が続くも、事業成長と前期不採算事業の整理等により、今期初めて1Qより黒字スタート

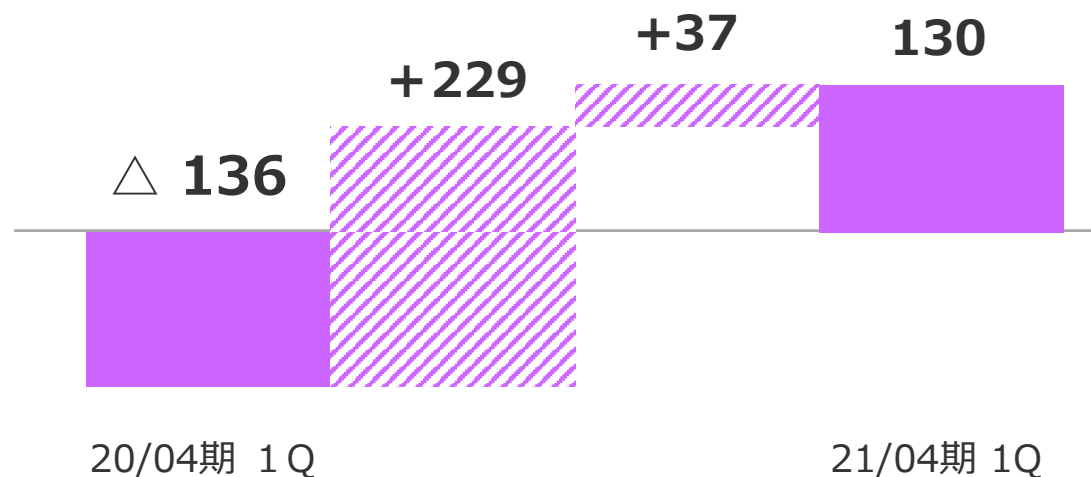
(単位：百万円)

売上高・セグメント損益



セグメント損益前年同期比差異分析

+229 FBEPHG売上増等に伴う利益増
+37 フリービット本体のヘルステック不採算事業の整理による利益改善等

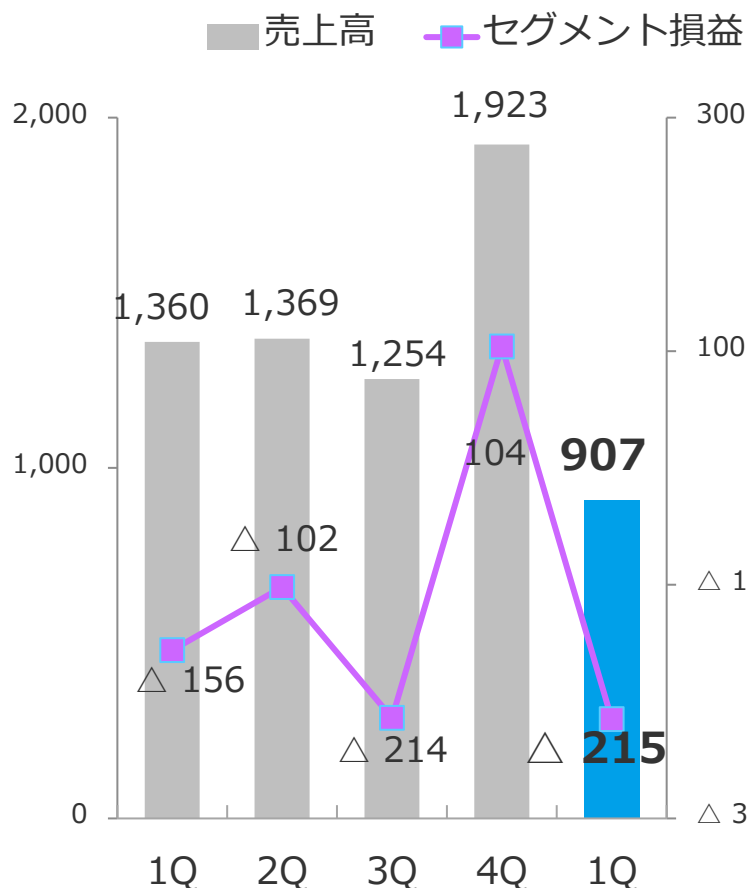


新型コロナウイルス感染症の拡大により、売上・利益ともに急減

主力事業である出版事業、研修事業、留学事業等において新型コロナウイルス感染症の影響が長期化することを視野に、デジタル・オンライン系商材の販売を強化

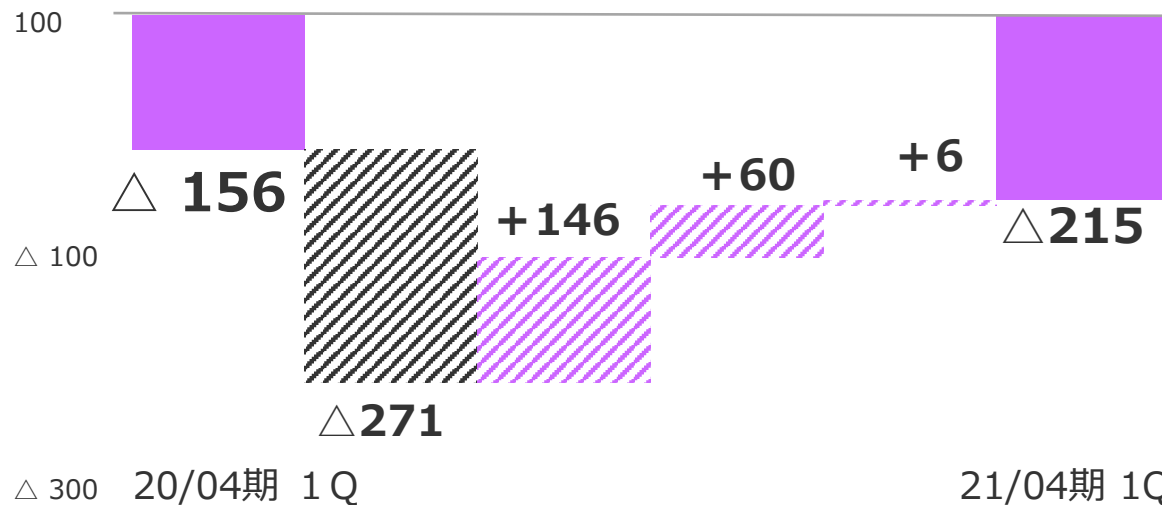
(単位：百万円)

売上高・セグメント損益



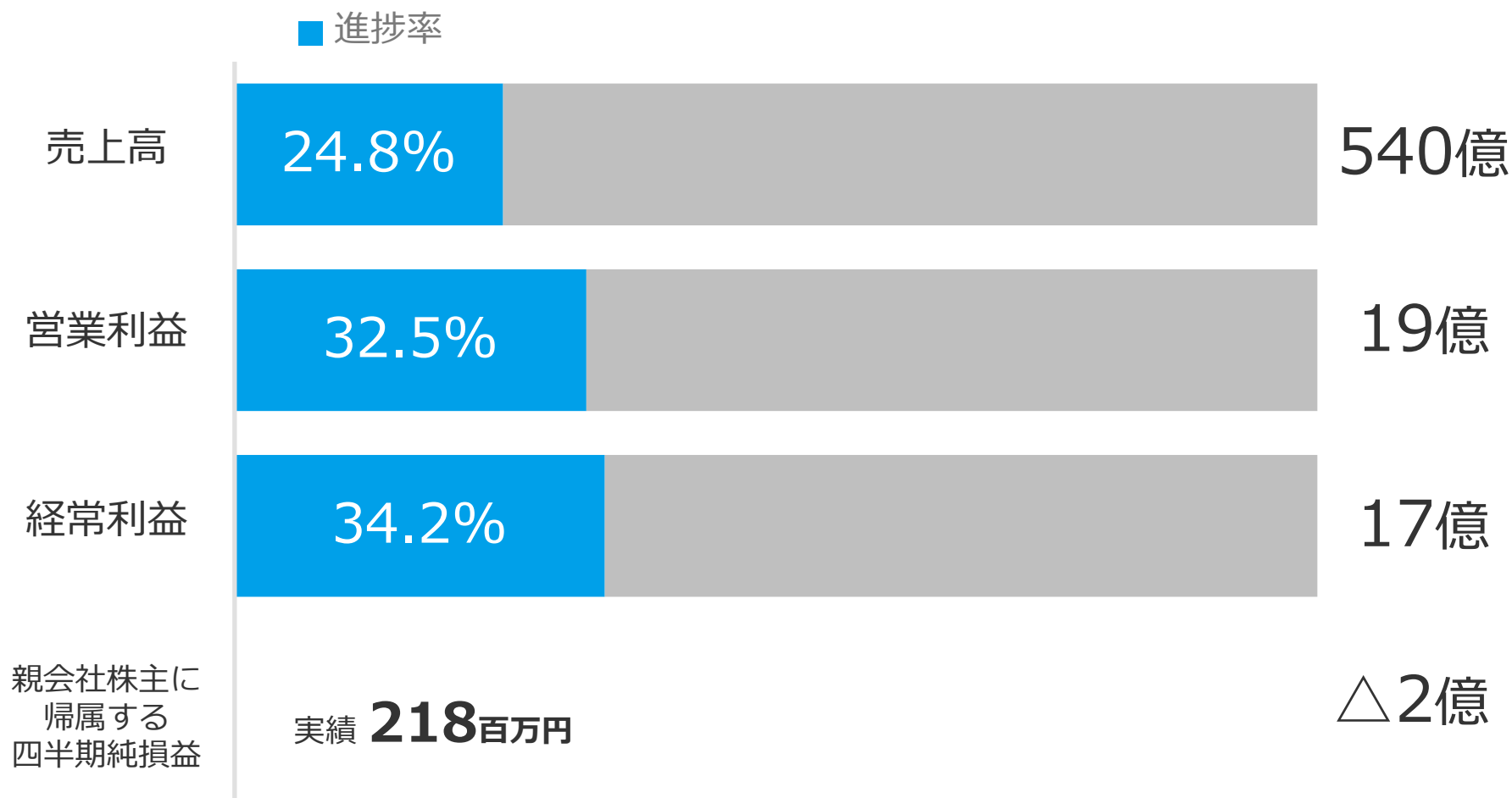
セグメント損益前年同期比差異分析

- △271 アルク売上減に伴う粗利減
- +146 アルク費用抑制に伴う利益増
- +60 のれん償却額減による利益増
- +6 その他



3. 2021年4月期 連結業績進捗

第1四半期はテレワーク需要増、投資施策の第2四半期以降への先送りによる費用支出抑制の影響により、数値上は順調に推移



■ with/afterコロナの新常態について

緊急事態宣言解除後は徐々に経済活動が再開されつつあるものの、秋冬期の新型コロナウイルス感染症の流行も懸念されるなど感染拡大が未だ予断を許さない状況の中、今後の景気や経済活動が見通ししにくい状況が続いています。

■ 今期方針（再掲）

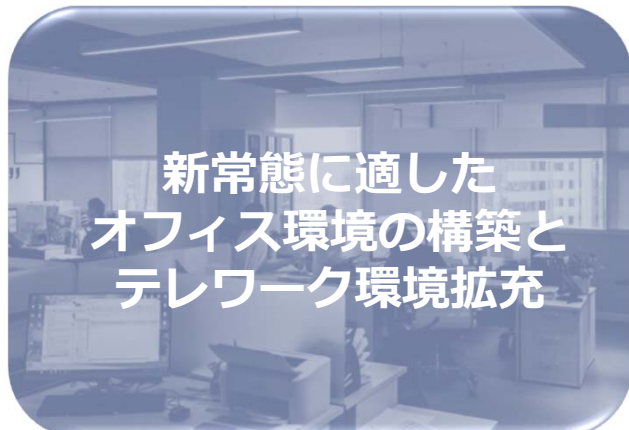
当社グループが、中期事業方針『SiLK VISION 2020』において獲得した「インフラ」と「プラットフォーム」の両ポートフォリオをwithコロナの「新常態」時代に合わせ最適化すると共に、人的リソース・技術リソース・保有データなどを最大限に有効活用していくグループの一体的運営を目指した大規模な構造改革を行なってまいります。

新型コロナウイルス感染症の影響等により、当初第1四半期に予定していた投資施策を第2四半期以降に実施予定

第2四半期以降において、新常態における安心・安全な働き方の実現、国際情勢を鑑みた設備・機材の見直し、技術リソースの拡充等に向けて投資を実施予定



固定網・データセンター
の見直しと最適化



新常態に適した
オフィス環境の構築と
テレワーク環境拡充



新規成長戦略のための
人材リソースの拡充

■ 新型コロナウイルス感染症対策について

お客様、お取引先様、従業員及びその家族の健康に配慮し、感染抑制及び感染拡大の防止に努めております。就業を原則テレワークとしていることをはじめ、不要不急の外出・出張・会食の抑制、大人数での会議の自粛やテレビ会議の活用などの対策を講じながら、お客様、お取引先様、従業員及びその家族の健康と安全を第一に事業活動を継続しています。

■ freebit Save You

毎日、自らの体調を測定・記録することにより、万が一不調となった場合も早急に正しい対応を取れるようにするため、グループ従業員向けに体調情報やテレワークの出退勤が申告できるアプリ「**freebit Save You**」を開発し運用しております。**現在の当社平均出勤率は3割以下**となっております。

freebit Save You



本資料に記載されている当社の予想、見通し、目標、計画、戦略等の将来に関する記述は、本資料作成の時点で当社が合理的であると判断する情報に基づき、一定の前提（仮定）を用いており、種々の要因により、実際の業績はこれらの予想・目標等と大きく異なる可能性があります。本資料は、当社の事業戦略の説明資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

＜IR及び本資料に関するお問い合わせ＞

フリービット株式会社
グループ経営管理本部 IR担当
Email freebit-ir@freebit.net
WEB <https://freebit.com/>



毎日、発明する会社

※ すべてのブランド、製品名、会社名、商標、サービスマークは各社に権利が帰属します。